

初春



新絵画棟

初心に返って姿勢を正す

名古屋芸術大学美術学部長 河本 大洋

OBの皆さんは元気に活躍のことと思います。母校の住人たちも頑張っています。

今年も教員は研究や発表のかたわらゴールデンウィーク明けのころから、こぞって進学説明会に東奔西走する一年でした。また、海外からの作家やデザイナーとの交流が日常的に行われるようになり、姉妹校との交流も活発に展開されて、様々な国籍の留学生が学内を闊歩する姿が普段の景色になってきました。

在校生たちは公募展やコンテストに入選したり受賞するものや、マンガ家の卵として大手出版社の編集者にマックされたり、海外留学に出たり、並みの就職では我慢できない楽道家が出版を窺っていたり、皆さんのところからの伝統(?)も旺盛に引き継がれています。

今日は12月9日。美術学部のテニスコート東側に洋画コースの新絵画棟が建ち、竣工式がありました。村上太佳子先生のお世話で、京都大学の加藤邦男教授グループの設計によるスマートなアトリエ教室が二棟。グラウンドを見下ろす北側ファサードの夜景は、ちよつといい感じですよ。

11月18日。杉江淳平先生の郷里にセラミックデザインの常滑工房が開設されました。常滑の焼き物散歩道の5番札所、辺りは作陶の動機に満ちた、陶器の産地のたたずまいがたつぷりと残った、素敵なところですよ。という具合に、母校も少しずつ変化しながら激動の時代に歩みを進めています。

ところで、景気の動向が芳ばしくない時期なので、身の振り方を思案する場合もあるかも知れません。そこでボクがひどく落ち込んだ時のことを振り返ってみます。

・・・・・・来る日も来る日も自分のカンパが通らない。中には通ったはずの仕事が舞い戻ってくる。その度に気持ちは塞いでくるし、先のことばかりに手につきません。そんなある時、決心をして自分から100日デッサンのペナルティを掛けたことがありました。(重傷ですねこれは)栄の交差点近くにあったヴィーナスの二階の絵画教室、近畿広告の地下のデッサン教室、さとう会館二階のデッサン教室、覚王山にあったヴィーナス絵画教室などなど、会員カードを七枚セロテープで綴って通いました。とりわけ先生に師事するためでもなく、一見客で通った教室でしたが、立派な先生方の名前が記憶に残っています。

不思議に厳しい指導のシーンに限ってよく覚えていますが、その後は仕事があまくなったわけでもありませんでしたが、自信が戻り、自分も辺りもよく見えるようになったことを覚えています。初心に返って姿勢を正すと自分が見えてくるということです。これは初心を学生時代に求めている頃の話ですが、お互いにますます自分らしくなるために、精進いたしましょう。

第10回同窓会総会・懇親会が開催されました。



1997年11月2日毎日ビル9階国際サロンにて

寒さが厳しい折りですが、会員の皆様には益々
ご清祥にてご活躍のことと拝察致します。
平素は同窓会並びに母校に対しご理解とご協力
賜り厚くお礼申し上げますとともにNUAプレス
が暫く休刊になっておりました事を深くお詫び致
します。我が同窓会も早10年経ち、母校も来年
には創立30年を迎えるに至り、昨年12月には
新しく絵画棟(表紙写真)も完成し、創立期を知
る者にとっては複雑な想いを感じる次第です。
同窓会事業には総会・懇親会の開催、ゴールデ
ンプライズの表彰、NUAプレスの発行等があり
ますが、新たに微力ながら同窓生の作品展を応援
しようという事になりました。第10回同窓会総
会にて承認されましたので、会員皆様のご利用を
お待ちしております。
最後に会員の皆様には健康に十分留意され益々
のご活躍と、母校の発展ともどもお祈り致しまし
て、ご挨拶とさせていただきます。
会長 吉田 将光

作品展に於ける後援規約

名古屋芸術大学美術学部同窓生による個人又はグループの作品展に対し
て同窓会が後援する事により、同窓生の社会に於ける活動を支援する。

1. 資格

名芸大美術学部同窓生で会費を収めた者。

(グループ展の場合おおむね3割以上の同窓生で構成し、同窓生
全員が会費納入者である事。)

2. 後援金

個展・グループ展とも1回に二万円とし、年2回以上開催の作品
展は年1回とする。但し、後援名使用は認める。

3. 手続き

イ) 会期3ヶ月前迄に後援依頼書を提出し同窓会役員会の審査を
受ける。

ロ) 作品展終了後10日以内に、DM及び会場(作品)写真数点
を添え報告書を提出する。

尚、DM及び写真は資料にするため返却出来ませんので御了
承ください。

4. 条件

イ) 作品展のDM・看板等の後援名「名古屋芸術大学美術学部同
窓会」を明記する。

5. 問い合わせ

名古屋芸術大学美術学部事務局 TEL0568-24-0325

様式1

後援依頼

○年○月○日

名古屋芸術大学美術学部同窓会
会長 吉田 将光 殿

第○期○○○科卒業
○○○○○○ 印

下記の作品展について後援をお願いします。

- 1) 名 称 ○○○○展
- 2) 場 所 ○○○ギャラリー
(住所・電話番号)
- 3) 会 期 ○年○月○日～○年○月○日迄
- 4) 代表者(出品者) 郵便番号・住所
※氏 名 (第○期○○○科)・電話番号
注) ※印は出品者全員記入

様式2

報告書

○年○月○日

名古屋芸術大学美術学部同窓会
会長 吉田 将光 殿

第○期○○○科卒業
○○○○○○ 印

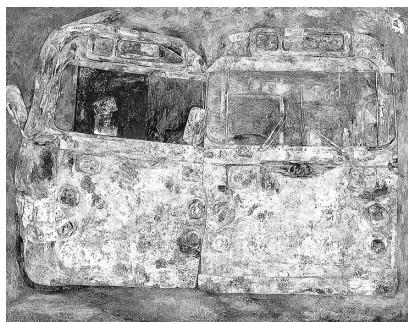
- 1) 名 称 ○○○○展
- 2) 場 所 ○○○ギャラリー
(住所・電話番号)
- 3) 会 期 ○年○月○日～○年○月○日迄
- 4) 代表者(出品者) 郵便番号・住所
※氏 名 (第○期○○○科)・電話番号
注) ※印は出品者全員記入
- 5) 入場者数 ○○名
- 6) 写真 写真○点添付致します。

以上作品展について報告致しますので後援金の支給を
お願い致します。

振込先/○○銀行・○○支店・○○口座・N○○○○
住所・氏名(名義)・電話番号

第10回ゴールデンプライズ受賞者報告

私は、普段学校のアトリエにて、「自分の感動したモチーフ。」を主題にして、日本画を制作しています。しかし、一言に「自分の感動したモチーフ。」と言っても一つに限られるわけではありません。それは、普段の生活の中からや、自分の感情の中からなど様々な方向から生まれてきます。ですから、動物を描いたり、植物、建物、時には風景など、それは、いつも異なってくるのです。毎回毎回、モチーフが変わり不安や、苦労もありますが、その時、感動したものを、素直に描いていきたいと思っています。又、「感動。」と言う、最初の想いと言うか、根源のところは、同じだと思えますから、それらに、常に、挑戦していきたいと思っています。そして、自分の感動したことを、素直に表現して、オーバーに言えば、「魂」の入った絵を描いていきたいと思っています。



22期生 日本画卒業生 林 真



受賞者氏名

22期生	日本画卒業	林 真さん
22期生	彫刻卒業	上杉 真由さん
23期生	洋画卒業	横山 佳通さん
24期生	デザイン卒業	古池 大介さん

世の中というものは誠に不条理なもので常に二つの相反するものが介在する。物質と精神、男と女、ポジとネガ・・・挙げていったらきりが無いが、私たち作家という錬金術師にも常に見るものが見られるものという、これまた相反する立場が付きまとう。作る側と見る側。自分の思想や感情といったものに重きが置かれるものが世の中にどう受け入れられているのかということを考えてみるといささか不安である。造形のみを追及した作品があるかと思えば理論という公式にあてはめて言葉に翻弄されているだけの作品、また本人にしか解らない神秘性たるバリアを張り巡らしてある作品など作品の形式も様々である。作者と観覧者、その両者のメッセージの不行届き、理解不能なもの。そんなジレンマを解消し解り易く一般に提示してくれるシステムはやはり市場でありメディアだろう。しかしこうしたシステムには虚構というものがまわりつきやすい。自分個人の判断というものがつきにくいからだ。例えばゴッホの向日葵には何十億という値がつけれ人々に崇められているが、彼が対象にした野に咲いている本物の向日葵を見て、はたして私たちは彼の作品と同等の感動を得ることが出来るだろうか？そう考えると、私はいささかメディアという巨大な生き物に恐怖を覚える。私は自分の制作している作品が見る人にとつての癒しであったり警告であったり、現代のアイコンとして機能することを望む。それが私にとつて先に述べたシステムとは別の場所である。芸術が正確に機能してほしいための私の挑戦である。

芸術の世界は誠に不条理なもので、常に二つの相反するものが介在する。作り手の作品とそれが機能する世界。もしこの世が矛盾だらけならば、少なくとも芸術はそれらを癒すもの、生き方へのヒントを与えてくれるものであってほしいと私は考えている。

24期生 デザイン卒業生 古池 大介



懇親会が、総会の後、音楽学部と合同で開催されました。なつかしい友達や、久しぶりに会う先生方と、楽しい会話がはずみました。又、美味しい料理でお腹いっぱいになった後、特賞折りたたみ自転車(6万円相当)をめぐって、ビンゴゲームで盛り上がりました。今回、特賞を獲得したのは、音楽学部同窓生(女性)でした。あつという間に2時間経ちましたが、とても有意義な懇親会でした。まだ一度も参加していない方、是非一度遊びに来て下さい。それでは、皆さん、今年の同窓会総会で会いましょう。

役員より一言

オ
マ
ケ

去年の芸大祭は11月1日（土）から3日（月）まで音楽学部が名古屋自由学院短期大学との合同祭「YOUNG MAN'97のテーマ、美術学部が10月31日（金）から3日まで「極楽ポルト」のテーマで両キャンパスいっばいにいろいろな催しを繰り広げました。特に2日に行われた音楽学部の「ジャズ&ブルースフェスティバル」はジャズシンガーとして著名なKeith Leeはじめ納屋嘉彦トリオらが出演するとあって早くから同学部の野外ステージは聴衆で満員。熱演に盛んな拍手が起りました。今年の芸大祭が、今から気になるところですが、同窓生の仲間も、沢山やって来ます。先生方や懐かしい友達にも会える芸大祭に、同窓生の皆さんも、学生気分遊びに来てはどうですか？

役員紹介

会長	副会長	副会長	副会長	理事長	理事（書記）	理事（会計）	理事（事務局長）	監査	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員
2期	2期	4期	5期	9期	5期	2期	5期	3期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期	20期
デザイン	デザイン	デザイン	洋画	洋画	彫刻	日本画	デザイン	洋画	日本画	日本画	彫刻	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	日本画	日本画	洋画	洋画	彫刻	彫刻	洋画	洋画
吉田	長尾	青木	山田	平田	白井	岩井	荒木	大沢	田口	芳賀	菅原	長谷川	山本	岩瀬	金森	杉原	尾関	村上	坪内	杉山	斎藤	鈴木	福岡
将光	久道	高弘	万喜夫	隆弘	義尚	紀江	尚史	研次	貴久	基純	史子	みき	裕美子	理恵	夕子	美奈子	朝子	詩乃	靖子	淳子	正臣	英二	直美
八神	塩谷	三枝	横田	及川	原野	篠田	三嶋	神山	百崎	加藤	高島	鈴木	藤田	岡本	大路	片岡	山本	川田	福岡	鈴木	斎藤	鈴木	福田
真弓	正恵	久美	真也	純也	多香子	有里	大也	武之	典絵	優一	陽子	善晴	摂子	昌子	宗規	麻紀	直美	英二	正臣	淳子	靖子	淳子	正臣

ご連絡下さい!!

住所を卒業時の時から変更された方、
名字が変わられた方 e t c、より円滑
な同窓会誌発行の為にご連絡ください。
卒業期、科、氏名、住所、電話番号を
ご記入の上、下記まで。

愛知県西春日井郡西春町 1
〒481-0038
名古屋芸術大学美術学部同窓会事務局

同窓会誌が何年ぶりに発行することが出来ました。役員諸氏、原稿を書いてくださった皆様のおかげをもちまして、第4号が無事に発行出来ました事を誌面を拝借しまして、ご協力に感謝を申し上げます。次回、同窓会誌ではどんどん特集を組み、読み応えのあるものにして、充実を謀りたいと思いますので、同窓生からの原稿や、取材希望、同窓生への宣伝等どしどし事務局宛に、お送り下さい。これからも、N U A P R E S Sをよろしくお願い致します。

スタッフ一同

後記